



めいいわ

生活： 休み時間の過ごし方を考えよう
保健： 歯を大切にしよう

<https://www.keinet.com/meiwas/>

TEL: 2 8 1 - 2 7 2 4

令和4年 6月号

児童数 390人

コロナ禍だからこそ・・・

校長 井上 貴文

梅雨入り前のわずかばかりの晴天の恵みにより、6年生の修学旅行と1～4年生の一日遠足を実施することができました。特に、修学旅行については、すべての児童が参加して、当初の計画どおり熊本へ。これは、これまで、新型コロナウイルス感染症対策に、家庭・学校・地域がみんなで取り組んできた成果です。これからも、健康と安全に十分留意し過ごしてほしいと思います。5年生の集団宿泊学習の天候が、たいへん気がかりなところですが。



復興半ばの熊本城

さらに、今、とても気がかりなことがあります。これは、学校だけでなく、社会全体に言えることかもしれませんが・・・コロナ禍で、この2年余りの間、さまざまな事業が中止を余儀なくされてきました。そのため、事業を実施する際のノウハウがうまく引き継がれているかということはよく話題になるところです。しかし、さらに気がかりなのは、その事業を実施することの意義が継承されていくことが困難になっているのではないかとことです。

これまでさまざまな困難を乗り越えたり、工夫・改善を加えながら現在に至るさまざまな事業の多くは、その意義が広く理解され大切に育てられてきているものです。それらの改善・改革については、まず、そのことの意義を知識として知り、体験し、熟考することが大切だと思う場面たびたび遭遇します。わたしは、どちらかと言うと、改善・改革には積極的な方だと思っています。しかし、そのたびに心がドキドキするのは、それが5年後、10年後、学校やその時代の児童にどのように影響するのかということです。「改善」のつもりが「改悪」にならないよう、なぜそれがそのように存在するのか、その背景をまずしっかり理解するように努めています。

コロナ禍であるからこそ、学校・地域・PTA等で行われているそれぞれの事業の本質について思いを巡らすよい機会なのかもしれません。

さらに「あいさつ上手」な明和っ子に！

あいさつの3つのポイント

1 人と人をつないで！

人は生活の中のさまざまな感情の中で生きています。その感情を心地よい「ふれあい」に変えてくれるのが「あいさつ」です。朝のあいさつにより日常を取り戻し、気持ちよい一日のスタートを切ることができます。

2 「心」と「形」をセットで！

「心」と「形」がセットになってこそ、心が伝わるあいさつとなります。こつは、「ストップ！→相手を見る」「ピン！→背筋を伸ばす」です。相手のために少し時間を使って止まる意識を持つことが大事です。

3 心を伝える「声」と「笑顔」で！

自分が笑顔で接すると相手も笑顔を返してくれます。そこに明るい声が添えられると相手も明るい声を返してくれます。お互いに元気の出るあいさつを！



立ち止まってあいさつ

このところ、立ち止まってあいさつのできる「あいさつ上手」な明和っ子が増えていきます。丁寧なあいさつのできる心豊かな人に育ててほしいと願います。

あ 相手の顔を見て **い** いつでも **さ** 先に **つ** 伝えるように